

食客奮闘記

帝キネ

現代映畫

原作並脚色者

阪本長二郎

監督者

小國狂二郎

撮影者

鍋本榮一郎

主要役割

小島洋々

房州屋源兵衛

野澤 勇

息子宗太郎

藤間林太郎

大工留さん

歌川八重子

女房お久

松村チエ子

伴新坊

二條 玉子

舞の師匠お志賀

解説 小國狂二氏の帝キネ復歸第一回作品で

略筋——女狂ひや茶屋遊びをしない様な甲斐性
なしてはと父源兵衛から粹な勸告を受けた宗太
郎は大工留さんの食客となつたが留さんの女房
お久には喧しく云はれ伴新坊には馬鹿にされて
るくに御飯も喰べられず日を過してゐた。ある
日留塞をしばつた末、舞の師匠お志賀の家で、
まんまさすき腹を満たしお志賀の妹おみつと同
情を買ひそれより兩人の間は戀に變つて行つ
た。それともしらず源兵衛と留さんは宗太郎の
堅いのをどうにかして直さうと芝入女を頼んで
宗太郎を誘惑させやうとしたが宗太郎はおみつ
を連れて一散に逃れた。一方お久は芝入女と留
さんの間、疑ひ大騒動が持ち上つた。しかし源
兵衛は宗太郎が戀人を捨てたのを知り喜んで安
心し、その女を歸したので萬事無事に納つた。